



『防災ウォーク』(まちあるき)を実施しました！

9月4日・11日の2日間にわたり、『防災まちづくり』の取組の第一歩として、**身近な防災上の課題を確認**することを目的に、『防災ウォーク』を実施しました。

『防災ウォーク』で確認した情報をもとに、今後、災害に強いまちを目指して「すぐに来る対策」を検討し、実現に向けて取り組んでまいります。

第1回 (平成 28 年 9 月 4 日) 参加者：22 名

- ・第1ブロック (福大明神町, 役人町, 小寺町, 如水町, 飛騨殿町, スペシャルー堀川, サーパス一条)
- ・第2ブロック (新梨庇町, 糸屋町, 下石橋南半町, 鏡石町, 下鏡石町)

第2回 (平成 28 年 9 月 11 日) 参加者：37 名

- ・第3ブロック (神明町, 須浜東町, 東堀町, 和水町, 常陸町)
- ・第4ブロック (藤五郎町, 小大門町, 榎町, 杉本町, 猪熊一丁目)
- ・第5ブロック (猪熊二丁目, 菊屋町, 奈良物町, 皂莢町, 俵町)



【参加者のみなさんのご感想等 (主なもの)】

- ・町内のことや防災のことを再認識するのにとても良い機会。継続していく事が重要だと思う。
- ・住んでから 22 年経つが、普段は入れない路地に入ったり、他の町内に空き家や空き地などがあることを新たに発見・認識した。
- ・中身の濃い「防災ウォーク」であった。個人の防災意識を高めるとともに、地域のコミュニケーションの大切さを再確認した。
- ・地域の集合場所の案内看板の設置など、必要なことをみんなで考え、少しでも前進して、安心・安全なまちづくりを目指したい。

『防災まちづくり』の取組を始めました！

聚楽学区は、路地や京町家、こまやかなコミュニティなど京都らしさが残る一方で、幅が狭い道や袋路（行き止まりの路地）、古い木造家屋が密集し、大規模な地震などが起きた際には建物の倒壊や火災の燃え広がり、避難や救助に支障をきたすなど、防災上の課題を抱えています。

こうしたことから、聚楽学区では、安心・安全に住み続けられる災害に強いまちを目指して、今年度から地域や京都市、専門家が連携し、『防災まちづくり』に取り組むこととなりました。今後、みなさんと一緒に学区全体で『防災まちづくり』に取り組んでまいりますので、ご協力よろしくお願ひします。

防災まちづくりの進め方（今後の取組の流れ）

1. まちの現状の把握【『防災ウォーク』（まちあるき）、9/4・9/11 実施】

- ・地域の現状を確認し、防災上の課題や災害時に役立つ資源を把握します。

課題を共有し、具体的な対策に向けて11月8日に、意見交換会を開催します！

2. 課題の把握・共有【マップづくり・意見交換会など】

- ・マップづくりや意見交換会を通じて、学区内の防災上の課題や資源をみんなで共有します。

3. 具体的な防災まちづくり対策の実践

- ・学区内の今ある危険を取り除く「すぐに取り組む対策」を進めます。
- ・学区行事などでのPRによって「防災まちづくり」の機運を高めます。

すぐに
取り組む
対策

- ・袋路の2方向避難経路の確保
- ・袋路入口のトンネル路地等の改善
- ・ブロック塀の改善
- ・防災ひろばの整備 等

連携

4. 「防災まちづくり計画」の検討・作成【基本方針・計画の検討・作成】

- ・防災性を高めるためのまちの将来像、「防災まちづくり」の基本方針の検討・計画づくりを行います。



住民みなさんとの意見交換

住民みなさんと地域の現状・課題を共有し、課題解決の方向性や具体的な取組、防災まちづくりの目標などについて話し合う意見交換会（ワークショップ）等を行います。

防災まちづくり計画って？

『防災まちづくり計画』とは、災害の被害から人命と財産を守るために、継続して「防災まちづくり」に取り組む考え方や具体的な取組等を取りまとめるものです。

5. 継続的な防災まちづくりの実践【計画実現に向けた継続的な取組】

- ・計画に基づき、「災害に強く、住みやすいまち」を目指した取組を継続して進めていきます。